

Bouquet

ブーケ



contents

特集	楽しんでいます 男性の子育て、孫育て	2p
	レポート 子どもを連れてまちを歩いてみました	4p
	地域の中で子育てをしています	5p
	中央区ワーク・ライフ・バランス シンポジウム報告	6p
	Bouquet Information 男女共同参画講座・講演会のお知らせと報告	6-7p
	TOPICS 男女共同参画 次世代リーダーのための日帰り研修ほか	8p

No. **66**
2011.12

男性の子育て、孫育て

育児休業を取得する男性は、1・38%とまだまだ少ないのが現状ですが、育児をする男性を表す「イクメン」という言葉が定着しはじめています。

一方で、子育てをする夫婦がその手助けとして一番頼りにしているのは「自分たちの親」であり、祖母だけでなく祖父も子育てを楽しんでいます。

中央区でNPO法人「孫育て・ニッポン」を立ち上げた棒田明子さんに、男性の子育て孫育ての現状を伺うとともに、育児休業を取得された中央区佃在住の八巻心太郎さんに、育児休業中の一日をレポートしていただきました。



棒田明子さん（ぼうだ・あきこ）
NPO 法人「孫育て・ニッポン」
（中央区）代表。育児サイト「ユウchan」、「孫育て上手」編集長。
著書に「祖父母に孫をあずける賢い100の方法—祖父母も孫もママもみんなハッピー—」がある。

Q 育児を楽しむ男性が増えていますが、その背景について教えてください。

国や企業がワーク・ライフ・バランスを推奨していることから、残業時間が減って在宅時間が長くなり、子どもと接する時間が増えていきます。子育てをする男性タレントを起用した広報やメディアによるイメージの浸透も大きいでしょう。育児雑誌で「イクメン」がとりあげられたり、男性向けの育児雑誌も出ています。

育児用品の変化もあります。ベビーカーの持ち手が男性でも押しやすいように高くなったり、男性用の抱っこひもが売られるなど、男性仕様のグッズが子育てを楽しむ

くさせています。子ども連れの外出に安心なスポットも増えていきます。昔はおむつを替えるところは女性用トイレにしかありませんでしたが、最近は男性用トイレにもありますし、だれでもトイレも使えます。

共働き家庭では、妻が働いているのならば自分が家事や子育てをして当たり前と考える男性も多くなります。中には、子どものお弁当を作るパパもいますが、育児だけでなく家事も含めて得意不得意で分担するなど、ご夫婦でコミュニケーションをとりながらその家庭にあったかたちで協力しあい、子育てをより一層楽しんでほしいと思います。

Q 孫育てのNPOを立ち上げられましたが、孫育てに着目したのはなぜですか。

働く女性が増えたことや働き方の多様化などにより、祖父母の手助けが否応なしに必要になっています。保育園の送迎も母親だったところに父親や祖母が入り、最近では祖父の送り迎えも見かけるようになりました。

一方で、お孫さんと同居されていなかったりご自分にお孫さんがいないなど、お孫さんと関われない方もいらっしゃると思います。こうした孫育てに関わりたいという方や、豊富な社会経験をもつリタイヤした男性の力を地域の子育てに貢献

してほしいという思いから、NPO法人「孫育て・ニッポン」をつくりました。血のつながりのある祖父母だけでなく、地域に顔見知りのジジババがいることは親御さんにとっても子どもたちにとっても心強いことです。家庭内にとどまらず、地域でたくさんの方と子どもとの関係をつくりたいと思います。

中央区は、祖父母と孫が同居・近居する世帯もありますが、多くは核家族です。保育園や幼稚園などの行事、祭りや防災訓練などさまざまな機会をとらえて、ジジババ世代と子育て世代がつながってほしいと思います。

Q 孫育てへのアドバイスをお願いします。

祖父の世代では、ご自身の子育て期には仕事が多忙で育児に参加できなかったという方もいらっしゃると思います。定年後、地域の子育てに関わりたいと思う方は、ファミリー・サポート・センターなどの子育て支援ボランティアに参加するのがよいでしょう。

ご自分のお孫さんに関わる時は、ママやパパたちがどんな子育てをしたいのかよく聞いてサポートすることです。また、孫と一緒にやりたいことをママやパパに伝えることで孫との楽しい時間も増えると思います。

八巻心太郎さん（佃在住）の育児休業 パパと凜ちゃんの日

- 7:00 ●起床、朝ごはんの準備。
- 7:30 ●みんなで一緒に朝ごはん。食後、凜ちゃんは出勤前のお母さんと積み木遊び。
- 8:30 ●お母さんいってらっしゃい。
- 9:00 ●凜ちゃんの相手をしながら掃除・洗濯。
- 10:30 ●佃児童館の「こんべいとうクラブ」へ。お友だちと仲良く遊びます。
- 12:00 ●ママ友さんたちと近所のカフェでランチ。凜ちゃんも一緒にお昼ごはん。
- 13:30 ●凜ちゃんはお昼寝タイム。
- 15:00 ●近所へお散歩。今日はあかちゃん天国でお友だちと遊びました。
- 17:30 ●スーパーで買い物して帰宅。
- 18:00 ●お風呂掃除と凜ちゃんの夕ごはんの準備。
- 18:30 ●今日の夕ごはんはクリームシチュー。食後は二人で遊びます。
- 20:00 ●一緒にお風呂。楽しいな～。
- 20:30 ●凜ちゃん、おやすみなさい～。お父さんは大人の夕食の準備。
- 21:30 ●お母さんが帰宅。二人で夕食。
- 22:30 ●食後のゆったりした時間。今日も一日お疲れさま～。
- 24:00 ●就寝。



育児休業を取得して

八巻心太郎

昨年9月に娘が誕生し、最初は妻が育休を取得。4月半ばからは妻が職場復帰するため私がバトンを受けて、9月末までの約半年間にわたって休職し、育児に専念する毎日を送りました。最初は不安もありましたが、実際動き出すと想像以上に楽しい日々。もちろん大変なこともありますが、それ以上に娘との生活から得られたものは大きく、本当に充実した半年間でした。週一回の佃児童館「こんべいとうクラブ」は皆勤賞。月島の「あかちゃん天国」にも頻繁に出没し、区が主催する講習会や無料の乳児健診などにもせっせと通った結果、いつの間にか多くのママ友さんができました。一緒にランチをしたり、育児情報交換をしたり、お出かけしたり。皆さん、父と子という組み合わせの我々に自然体で優しく接してくれて、本当に感謝しています。このようなつながりは心の支えにもなるし、困ったときに助け合えます。「地域社会の中での子育て」の重要性を実感しました。また、「一日中、朝から晩まで1人で子どもの世話をすること」を体験したからこそ、育児の大変さを実感できました。おかげで妻と二人フルタイムで職場復帰した現在も、お互い協力しながら「楽しい子育て」ができています。



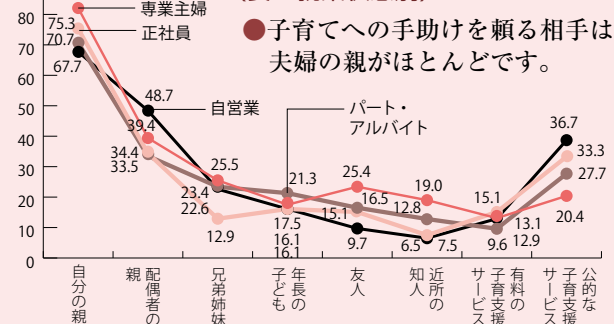
赤須國行さん（勝とき在住）
孫の天風は5歳。70歳を過ぎてから生まれた初孫で、私は「ジジ」と呼ばれています。孫の家から歩いて3分のところに住んでいます。毎日、公園に行ったり孫の家で一緒に遊ぶことも多く、幼稚園の公開授業にも必ず参加しているの、皆さん顔なじみ。子どもたちからもそのママさんからも「天風ジジ」と呼ばれています。嬉しいですね。一緒に遊んだあとは子どもたちを家の近くまで送り届けるので、ママさん方も安心しているようです。孫を接点にたくさん交流ができました。

現役のときは仕事が忙しくて自分の子どもと一緒に過ごすことができませんでした。それが今、こうして孫や子どもたちと楽しく過ごせる。本当に至福の時間です。

楽しいぞ！ 孫育て

赤須國行さん（勝とき在住）
孫の天風は5歳。70歳を過ぎてから生まれた初孫で、私は「ジジ」と呼ばれています。孫の家から歩いて3分のところに住んでいます。毎日、公園に行ったり孫の家で一緒に遊ぶことも多く、幼稚園の公開授業にも必ず参加しているの、皆さん顔なじみ。子どもたちからもそのママさんからも「天風ジジ」と呼ばれています。嬉しいですね。一緒に遊んだあとは子どもたちを家の近くまで送り届けるので、ママさん方も安心しているようです。孫を接点にたくさん交流ができました。

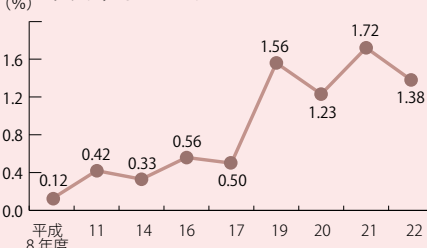
図表2 子育ての手助けを頼る相手（妻の就業状態別）



資料：平成17年版「国民生活白書」内閣府

図表1 男性の育児休業取得率の推移

●平成22年度は1.38%で前年度を下回りました。



資料：平成17年度までは厚生労働省「女性雇用管理基本調査」
平成19年度より厚生労働省「雇用均等基本調査」